

兵庫県水産技術センターだより

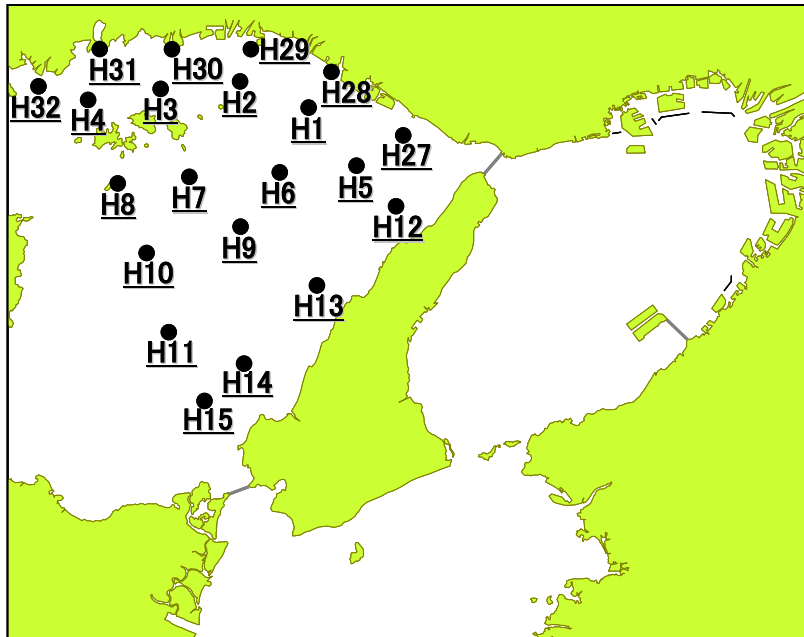
赤潮情報 AK-05-12号 (播磨灘全域)

令和5年8月2日発行

7月31日～8月1日に赤潮プランクトン調査(播磨灘全域：定期調査)を実施しましたので、その結果をお知らせします。

【概況】・北部を中心に有害赤潮プランクトン(シャットネラ アンティカ、シャットネラ マリーナ)が増加し、一部の地点では警戒体制値を超えています。活魚の運搬や畜養、漁船の航行には十分にご注意ください。

・有害な赤潮が発生しやすい時期をむかえていますので、海域の着色状況にご注意願います。



シャットネラに警戒を!

- ・魚類養殖を行っている地区では、海水が茶褐色に変色している場合や魚の様子がおかしいと思われる場合、餌止め等の処置を行って下さい。
- ・魚の畜養等にも十分注意し、活魚を積んだ漁船の航行に際しては、変色した海域を避けるなどの対策を講じて下さい。



注意が必要な赤潮プランクトンの密度

シャットネラ・アンティカおよびマリーナの合計値

注意体制： 10細胞/ml 警戒体制： 100細胞/ml

カレニア(ギムノディニウム)・ミキモトイ

注意体制： 500細胞/ml 警戒体制： 5,000細胞/ml

ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ

注意体制： 50細胞/ml 警戒体制： 500細胞/ml

赤潮プランクトン調査結果(海水1ミリットルあたりの細胞数)

※H2H28H30H31は赤潮情報AK-05-11の調査データを再掲

調査地点	水深(m)	ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ	カレニア(ギムノディニウム)・ミキモトイ	シャットネラ・アンティカ	シャットネラ・マリーナ	シャットネラ・グロブサ	シャットネラ・ベシコロサ	カレニア・ポクロイダ	ヘテロカプサ・アカオ
H1	0	0	0	0	2	0	0	0	0
H2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H4	0	0	1	0	0	1	0	0	0
H5	0	0	2	1	0	0	0	0	0
H6	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H7	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H8	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H9	0	0	0	0	0	1	0	0	0
H10	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H11	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H12	0	0	3	8	0	0	0	0	0
H13	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H14	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H15	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H27	0	0	0	2	0	0	0	0	0
H28	0	0	0	35.4	0.7	0.7	0	0	0
H29	0	0	0	83	1	0	0	0	0
	5	0	0	55	0	3	0	0	0
	B-1	0	0	395	3	1	0	0	0
H30	0	0	9.3	0	0	0	0	0	
H31	0	0	7.3	0	0	0	0	0	
H32	0	0	9	0	0	0	0	0	

【今後の調査予定】

- ・次回は8月7日に定期調査(播磨灘北部)を予定しています。調査結果がまとまり次第「赤潮情報AK-05-13号」としてお知らせします。

§お問い合わせ先§ 兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センター(担当：水産環境部 妹背、中桐)
Tel : 078-941-8601 Fax : 078-941-8604 Homepage : <https://www.hyogo-suigi.jp/>